

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	小方 雅子 (おがた まさこ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学部 4 年
発表年月 または事業開催年月	2024 年 3 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 259 回自然言語処理研究発表会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	小方 雅子、藤後 英哲、中下 咲帆、菊池 英明、藤倉 将平
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	会話の含みの取り消し可能性に着目した大規模言語モデルの評価
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>大規模言語モデル (LLM) の著しい発展が続く中で、様々な観点から LLM の性能を評価することが求められている。人間の言語に見られる現象の一つに会話の含みがある。会話の含みとは発話によって暗に伝えられる文脈依存的な言外の発話意図である。会話の含みには、ある発話で生じる会話の含みは別のある文脈を想定することによって取り消すことが可能であるという特徴がある。この特徴により、同じ文であっても文脈に応じて異なる会話の含みが生じ得る。本研究ではこの会話の含みの取り消し可能性に着目し、LLM が人間と同じように文脈に応じて会話の含みを読み取ることができるのかを検証した。その結果、LLM は人間と比べ、文脈に応じて会話の含みを読み取ることが十分にできていないことが判明した。</p>	

※無断転載禁止